

水と洗剤



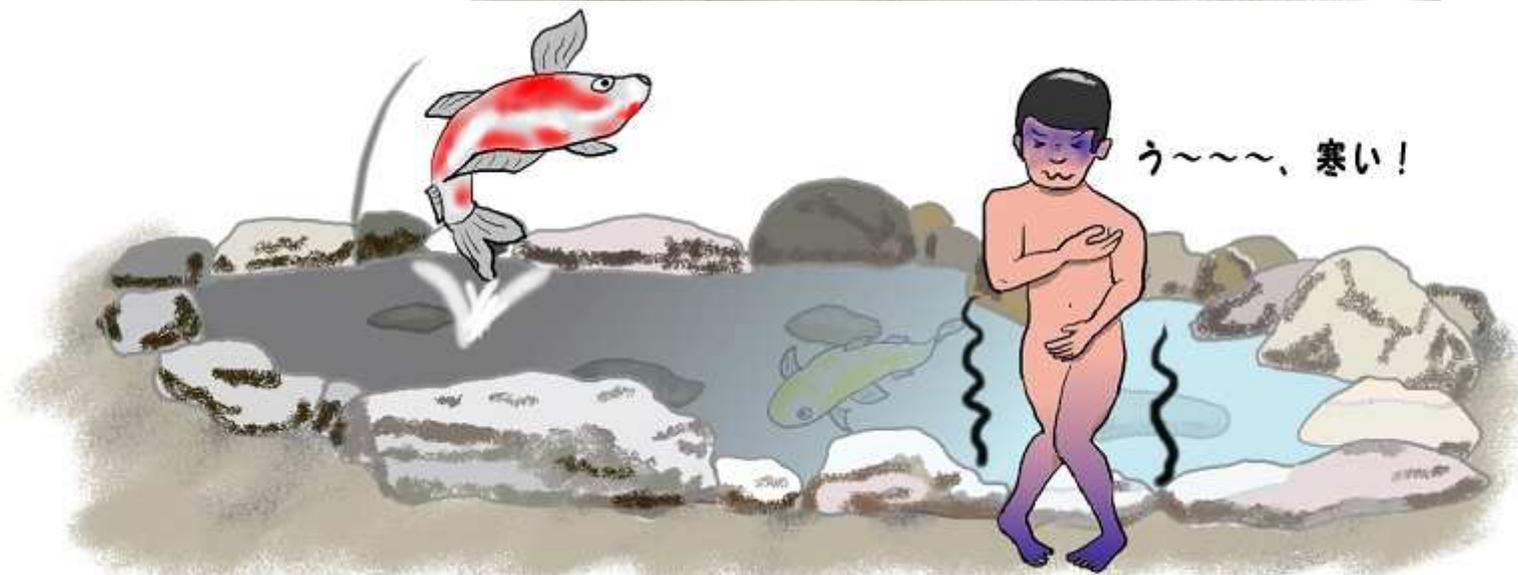
東郷 潤

旅先で、お風呂に入ろうと思いました。



お風呂だと思ったら
池だったのです。

わっ、水だ！



認識を間違えたら、寒いのです。 当たり前ですね。

喉が渴いたので、水を飲もうと思いました。





まずい!

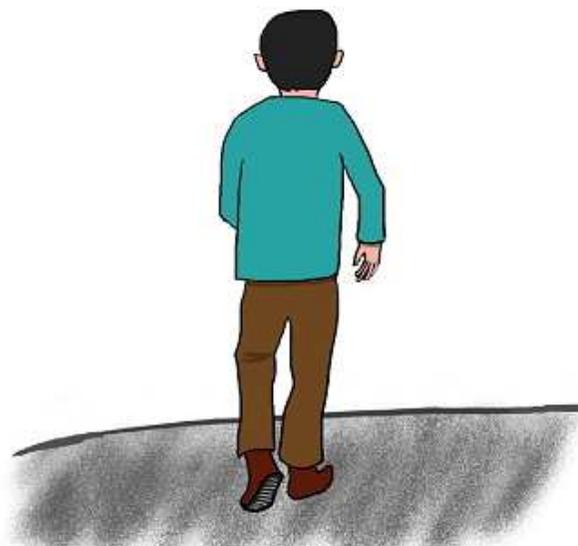
お〜い、コップに入れた洗剤、
持ってきてくれないか?



せ、洗剤ですって!?

認識を間違えたら、まずいです。当たり前ですね。

平らな道だと思って歩きました。



そしたら崖でした。



現実をありのままに認識することは、その人の**利益**になるのです。これはごく当たり前の事実であり、善でも悪でもありません。

さ、錯覚は痛い・・・



あとがき ー絵本「水と洗剤」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2013